

抗血栓療法中の区域麻酔・神経ブロックガイドライン 修正箇所

○目次

・ P. iii

ガイドラインの作成法

<修正前> 用語について (記載なし)

<修正後> 用語について (追加記載)

・ P. vii

CQ35 :

<修正前> 妊婦に対して塞栓防止のために抗血栓療法を行うべきか？

<修正後> 妊娠中の抗血栓療法の適応は？

CQ37 :

<修正前> ～を使用している小児に区域麻酔を安全に施行できるか？

<修正後> ～を使用している小児に区域麻酔・神経ブロックを安全に施行できるか？

○総論 3

P. 13 3) 心臓外科手術

▶生体弁

<修正前> ◇MVR+高リス 2.0～2.5

<修正後> ◇MVR+高リスク 2.0～2.5

○総論 5

P. 20 12行目

<修正前> 表6

<修正後> 表7

○各論 1

P. 29 表8内

・抗凝固薬

<修正前> アピキサバン

<修正後> アピキサバン

・ワルファリン

<修正前> INR

<修正後> PT-INR